

---

# 手術室における電子化手順書導入によるDX化の効果

岡本周之

松井貫太郎 守本登哉 松下菜穂 高田真美 清川敏

井戸祥太 高木俊文 樋口久子

社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院 診療技術部 臨床工学科



社会医療法人 鴻仁会

岡山中央病院

---

# 日本臨床工学会 COI開示

筆頭発表者名：岡本 周之

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはございません

AIによる画像生成を使用しています

## 社会的背景（医療DX）

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは  
デジタル技術を活用し、業務や仕組みを変革すること  
単なる電子化ではなく業務プロセスそのものを変えること

### なぜ今DXが必要か

- 人員不足
- 長時間労働
- 教育の効率化

医療現場ではDX(digital transformation)が推進



## 背景

手術室数：5 部屋

年間手術件数：2376件（2025年）

手術室配属臨床工学技士：11名



タスクシェアの視点から、清潔介助をCEが担当

## 背景

術式ごとの手術手順書を使用

従来はExcelで作成し紙ベースで個人管理

作成ハードルの高さから未作成の手順書も多数あった

(当時手順書数80件程度)

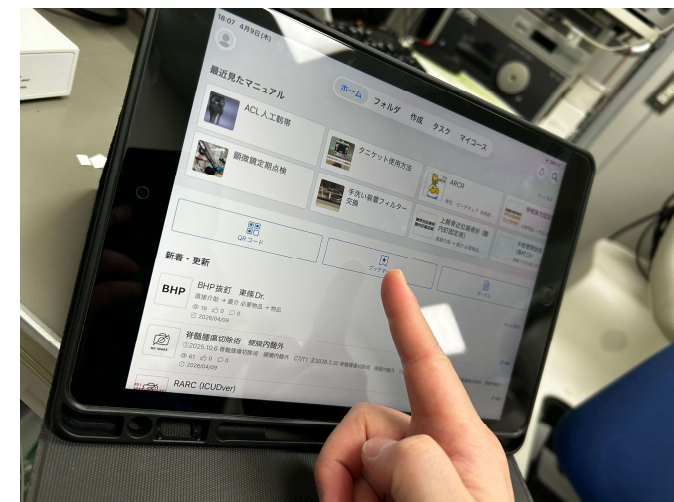
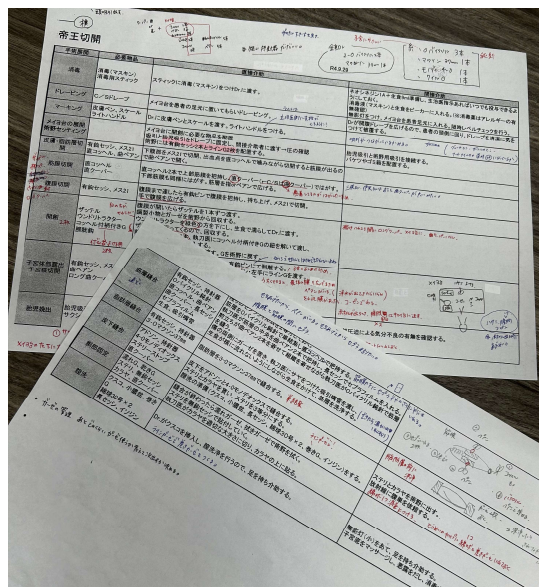




# 目的

## 手術手順書を電子化する 手術室業務のDX化

- 情報共有の最適化
- 教育効果向上
- 作業標準化



# 2023年11月「teach me biz」導入



更新（作成）が遅れていた手順書を

手術室スタッフ（CE、Ns）全員が協働して活用する体制に変化

## DXによる変化

項目	従来（紙手順書）	電子化手順書（DX）
管理方法	Excel作成・紙で保管	クラウドで一元管理
情報共有	個人間での共有	全員でリアルタイム共有
更新	手書で追加・データの修正	その場で即時更新
内容	文字中心	写真・動画を活用
所有	スタッフ個人で管理	組織全体で共有

手順書のDX化により、

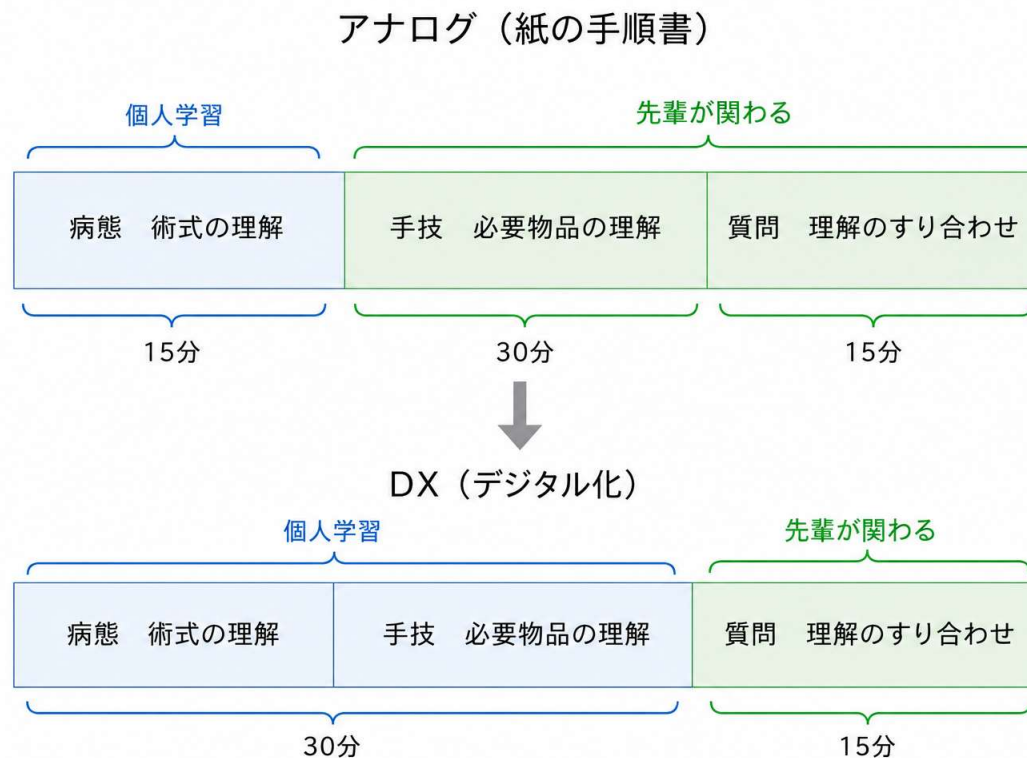
情報は“個人のもの”から“組織全体で共有・更新できる体制”へと変化した

## 結果 教育効果

- 事前学習効果が向上

指導時間：30分以上の短縮

総学習時間：15分以上の短縮



「理解のすり合わせを中心とした教育へ変化」

## 結果 教育効果

- 情報共有の最適化

リアルタイム更新で**最新情報の共有**

- 統一した教育内容

統一した手順書を使用した教育で**指導者間の差を軽減**



## 結果 業務効率効果

### 他職種への操作説明、勉強会、新人教育への活用

- 勉強会内容をいつでも閲覧可能
- 約15分の説明会を電子化
- 好きな時間・場所で学習可能
- 指導者の拘束時間を削減



## 結果 作業標準化

- 機器操作・点検方法も手順書化
- 写真・動画で提示



手順の視覚化を活用した電子手順書により、  
属人的であった知識や技術を組織全体で共有可能

---

## 課題

- ネットワーク環境整備
- 継続的更新体制
- 使用用途の拡大

---

## 結語

手順書の電子化は、業務効率化にとどまらず、  
教育・標準化・情報共有を同時に実現し、  
業務の質向上に寄与するDXの有効な手段である